

2019年度 お茶の水地理学会活動報告

2019年度のお茶の水地理学会の活動は下記の通りです。

1. 4月24日(水) 会報『harmonie』74号発行, 発送
2. 5月17日(金) 代表幹事会 参加者6名
3. 5月31日(金) 学会誌『お茶の水地理』58号発行

4. 6月1日(土) 学年幹事会 参加者16名
総会 参加者19名
講演会 参加者40名
懇親会 参加者23名

*講演会 「東京のエスニック空間と多文化共生に関する高校生への授業実践」

講師: 永田 博香会員 (61回生, 麻布中学・高等学校教諭)

2015年お茶の水女子大学大学院ジェンダー社会科学専攻地理環境学コース修了。2014年より現職。

講演要旨を本誌に掲載。

*卒論優秀賞受賞講演 「成熟した専門店街・神田神保町における古書店を中心とした来街者回遊行動について」
受賞者: 多賀 麻里子会員 (67回生)

受賞者欠席のため, 在学時の指導教員である水野 勲教授より論文紹介。

*キャンパス報告 「学生交流企画『学生から見た地理学』を開催して」

報告者: 木村 翠会員 (66回生, 大学院地理環境学コース博士前期課程2年生)

5. 7月12日(金) 代表幹事会 参加者7名

6. 9月28日(土)・29日(日) エクスカーション
9月28日(土) 「お茶の水女子大学周辺の今と昔をたどる」(茗荷谷)

案内者: 笹尾 萌衣会員, 藤本 まゆ会員, 吉田 瑠夏会員 (地理学コース3年生)

参加者: 31名 (当学会19名, 明日香12名)

- 9月29日(日) 「武蔵野の水利用～玉川上水のはじまり～石川酒造」(羽村取水堰周辺)

案内者: 滝沢 由美子会員 (14回生, 一般財団法人地図情報センター理事長, 元帝京大学教授)

参加者: 32名 (当学会19名, 明日香13名)

※明日香とは奈良女子大学地理学科卒業生同窓会です。

7. 10月23日(水) 会報『harmonie』75号発行, 発送

8. 11月16日(土) 代表幹事会 参加者10名

9. 12月7日(土) 学年幹事会 参加者18名
講演会 参加者81名
懇親会 参加者20名

*講演会 「最近の自然災害の動向と地理学における災害への取り組み」

講師: 熊木 洋太氏 (専修大学文学部環境地理学科教授)

東京大学理学部で地理学を専攻。大学院修士課程修了後建設省入省。国土地理院, 九州地方建設局, 国土庁, 科学技術庁に勤務。2007年に国土地理院地理地殻活動研究センター長にて退官, 専修大学教授就任。

主な著書 (いずれも一部を分担執筆)

- ・鈴木 康弘編 2015. 『防災・減災につなげるハザードマップの活かし方』岩波書店.
- ・日本地形学連合編 2017. 『地形の辞典』朝倉書店.
- ・中井 仁監修 2018. 『教育現場の防災読本』京都大学学術出版会.

講演会はお茶の水学術事業会との共催。会員のほかに, 学生, 桜蔭会会員, および大学webページ, 朝日新聞, 『月刊地理』(古今書院) などの広報による一般参加者が集まった。講演要旨を本誌に掲載。

10. 2月22日(土) 代表幹事会 参加者7名

(お茶の水地理学会事務局 東野 真紀)